（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年九月三十日（木曜日）　第二百廿六號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●郵便思想の發達（光化門郵便局長の談）

近來韓人の郵便思想殊に爲替に對する發達は頗る著しきものにして最近四十年より四十二年三年間の統計は

	四十年八月	四十一年八月	四十二年八月
受込	七百七十四口	千三百四十三口	千四百三十四口
拂戻 同上	五百四十八口	千四百二十九口	千三百六十六口

内振出に於て日本人六分韓人四分拂戻に於て韓人九分五厘にして日人五厘なり由來郵便事務の順逆は普通郵書に於て受込多く同爲替に於て拂渡の多きことは順調にして何れの地を問はず財界順境の都會皆な上叙同一の現象を有せざるはなし數學に於ては極て幼稚なるものなれ共漸々韓民一般の郵便思想長足の開發は爭ふべからざる事實にして殊に爲替證券を通貨に代用し極て圓滑に流通しつゝ有るが如きは畢竟するに往昔於音使用の餘習とはいへ彼等が通信局を信用し且つ保管上安全なるを覺りしによるものなるが未だ金融機關の極て幼稚なる韓國の今日に於て韓民一般の意向が自然に郵便利用に傾注するは頗る歎ふべきなり尙は光化門郵便局の爲替及郵書の取扱範圍は極て廣大にして殆ど韓國全土の郵便局と關係を有せざるなし云々

●東拓と漁業經營

東拓の西海岸漁業經營は既に岡十郎氏其他有力の數氏に請負はしむることに決定したるものゝ外他漁基も夫々處分の考案中なるが積極的事業の施設は來年のことゝなるべく尙は近々宇佐川總裁若くは重役一兩氏漁基視察の爲め出張すべしと

●西海岸方面漁村經營

頭山滿氏等の經營に關かる漁業團は今春來試漁の結果春秋兩期を通じての漁撈は家屋の建設飲料水の準備等凡て根據地の具體的完成を待つに非ざれば到底十二分の成蹟を擧げ得ざるを確かめ自今根底ある基礎の上に永久斯業の發達を期し既に許可濟みなる黃海道夢金浦の根據地に向け不日役員を派し前記の家屋井戸及魚附林等の設備に取掛る筈なるが平安北道に於ける同氏の經營を相俟て來年度に於ける西海岸の漁業界は活目して見る可きものあらん

●韓人貯金奬勵の必要

韓國に於ける對外貿易の狀況は毎に甚しき不均衡を示めし輸入は輸出を超過する事正さに數百萬圓の巨額に達しつゝあり斯かる現象は世界に稀有の事實にして韓國民の貧弱なる亦所以なきにあらず然れども翻つて此現象を考究するに右は我國民が盛んに韓國に發展しつゝある一徵にして則ち輸入の超過額は鐵道農業或は工業等に放資せる爲めにして換言すれば我が國民が夫れだけ韓國に財産を扶植し行く譯也而して我が國が斯く韓國に各種の興業を經營しつゝある結果多數韓人に零細なる賃金を與へ彼等は不知不識の間に非常の餘惠を被り居れり然るに韓民の遊惰心は殆んど先天的にして將來の計を爲す能はざる爲め倍々貧弱を極め現に韓國一般の不景氣は主もに金融の逼迫に起因するにても知る可しされば是を救濟するには貯蓄心を奬勵して彼等勞働餘金を蒐集し以て銀行に回收を計らば其效果著かるべしと一銀支店の某氏は語れり

●韓人醫師の奮起

日本に留學して醫學專門學校を修めたる韓國醫安商浩、金弼淳、金熙榮、李錫裕、朴容南、朴瑞陽、張基茂、韓齊敎、鄭潤海の得業士等は虎疫益す猖獗なるより發奮して防疫自衛團を組織し防疫本部に應援を申込みたるが前報の如く韓人間に種々の誤想ある際斯擧は其感情上にも頗る有效なるべく其筋に於ては喜んで義擧を稱し防疫就務を依囑したる由依て一同は本日より夫々服務各戸檢病的調査、應急治療、衛生講話等に部署を分ち活働を開始したりといふ

中山大納言

第六十三席　桃川燕濵玉

さて彦九郎はドン〳〵道を急いで上州新田郡細谷村へ立歸つて見ると、もう疾くに一揆は治まつて別に何事もございませぬ、と此彦九郎の兄に專藏と云ふ人があるか、どうも此兄さんと折合が惡かつた、それが爲め兄の許へは參りませぬ。騷動が鎭つたから直ぐ江戸へ立歸らうと、一軒の酒屋がございますから其處へ立寄つて一盃飲む、見ると奧の方に、大分大一座でございましてワー〳〵酒を飲んで騷いで居る。見ると這はそも什麽、江上關龍と云ふ先生正面に控ね、周圍に居りますのは門人衆がかれこれ二十何人、驚いたのは彦九郎 彦「これはどうも何處へ各位は御行になつた 關「イヤ是は高山、マア〳〵無事で何より宜かつた其許は一體が短氣、人間は正直だがどうもいかぬ、短氣だから又何樣な間違ひ、大事があるまいとも限らんから、そこで拙者がれ手前を助けやうと發足を致す、一同の者が共に尊公に御助勢を致さうさ、拙者と同道をして參られた 彦「イヤそれはどうも千萬忝けない、拙者をそれ程御思ひ下さるゝ何とも御志の程忘れは致さぬ」と彦九郎も非常な喜びで、是から打連れまして江戸表へ立歸つた。實に此彦九郎と云ふ人は非常に人望がございました、一朝事ある時には此人の爲に命を擲つて惜からぬと云ふ人が數多ございました、されば彦九郎が暫く江戸表へ立歸つて簗又七と云ふ人の方に居りました、所が此頃話を承りますると、どうも露西亞人が日本の蝦夷を屢々侵すと云ふ、以ての外の奴は露國の奴、不屆千萬、徳川家の役人が等閑つて居るに依つてどうもいかぬ、一つ蝦夷地へ乘込んで實地を研究に及び、次第に依つたら露西亞人を打懲つて我が皇國の威勢を示して呉やうと、そこで高山彦九郎が彼の蝦夷へ行かうと云ふ、其時に江戸を立て常陸の水戸へ參りまして、豫て懇意を致しました長久保玄珠と云ふ人がございます此人に 彦「扨今度松前から蝦夷地を漫遊を致すが事に依ると拙者再び御目に懸れぬかも知れぬそれに就て尊公に御願がござる拙者一人の娘がある、之が其許の御丹精で、水戸殿の家來藤田治郎左衛門、此人へ遣して貰ひたい、萬一拙者再び御目に懸らぬやうな事があつたら、何分其邊は貴公御盡力を願ひたい」と言つて途に水戸を出立をし、それから奧州へ乘込んで石の卷の蛇田と云ふ處に參りました。此處に後醍醐天皇の塚がございまする、元より勤王無二の高山彦九郎、近所の百姓を一人賴みまして 彦「どうか水を此へ汲んで來て呉れ、序に箒を持つて來て呉れ、之を遣はす」と幾らかの金をやつた、百姓は大層喜びまして、軈て擔桶に一荷清潔な水を汲んで擔いで參り、竹箒を持つて來た。是から彦九郎後醍醐天皇の御陵を箒目を立つて、淸い水を上げ、すつかり其邊を掃除を致し、荷物の中から取出したのが紋付の衣類、續いて上下を取出し、是を着致して御陵の前へドッカリ着座に及んで拍手を鳴らすと、高山彦九郎大地にベッタリ面を擦付けまして、謹んで此後醍醐天皇の塔を拜しました、其有樣を水を擔いで來た百姓が見ると驚いた、誠心面に現はれました彦九郎、一生懸命に後醍醐天皇の塔を拜して居る、其言ふ事は何だか分りませぬが淚を流し、己が頭を以て大地を叩いて拜んで居る、どう見たつて本氣の沙汰とは思はれないから 〇「コレアまあどうも豪い氣違ひがやつて來たが、何しろ長い物を差して居る、どう氣が變つて引拔いて振廻すまいものでもない、迂濶側へ行つて怪我でもしてはなんねい」と臆を潰して百姓め其處を逃げてしまつた。と十日ばかり經つて此後醍醐天皇の塔に參詣に來たのが、野州宇都宮の産で蒲生君平と云ふ人、圖らず此百姓に出會ひまして、彦九郎の話を聞いて大層感心をし、何しろ高山彦九郎に會はうと思つて跡を追込んで來たが、もうこれ十日も經つては仕方がないと云つて、君平と云ふ人は其儘立歸りました。されば彦九郎は蒲生君平とは生涯面を合はせずにしまつたのだが、其時に此高山彦九郎が仙臺へ參りまして、有名の林子平方へ來て訪ねた、林子平と云ふ人も殊の外高山彦九郎を歡待しました、長らく此處に逗留を致し、あれから彦九郎が蝦夷地を悉く漫遊を致しまして、再び取つて返して越前の敦賀へ參りまして、あれから京都へ出立でました、時に中山大納言江戸表へ御下向に相成る、所謂閑院宮尊號事件と云ふ。彦九郎の考へでは、江戸に勤王無二の松平越中守定信がある、中山殿關東下向に相成る上からは、閑院宮へ太上天皇の尊號疑ひもなく事が纒まる、誠に喜ばしき事であると大に喜んで居りました、所が物事は思ひ通りに參りませぬもので、中山大納言愛親卿、殊の外不首尾で都へ御歸りと云ふ事に相成つて、閉門蟄居と云ふ事に相成り、閑院宮樣尊號事件は茲に畫餅と相成つた、それを彦九郎は殊の外に立腹を致し、思ひ餘つて遂々筑後久留米に於て切腹を致すやうな事に相成りました。



京城新報

穀物輸出の奬勵

頃者仁川穀物協會は其筋に向て穀物輸出奬勵補助の請願をなせりと聞く、其内容は現在韓國より英獨其他の諸國に輸出する穀物は運賃等の關係に於て其相場不引合となるを以て自然輸出を減退しむ是を以て此等諸國に輸出するものに限り米一石に付五十錢雜穀一石に付二十錢の割合を以て當分の中補助金を下附せられたしと云ふもの〻如し、韓國唯一の輸出物たる米穀の輸出の奬勵に就て、斯る姑息的の保護を與ふる果して可なりや否は素より問題なる事にして今更に之を論ずる要を認めずと雖も、韓國米穀の歐洲輸出に就ては大に奬勵するの急務なるを認む、其奬勵法は兎に角仁川穀物協會が之を自覺し率先以て其奬勵方法を當局者に請願するに至りしは甚だ喜ぶべき事也、既に輸出の途ある穀類の運賃の關係により其價格折合はずして輸出額退減するとせば之を奬勵する方法も甚だしく難事にあらざるべし、曾禰統監の産業政策は必ずや之が奬勵に就て既に研究せるもあらむ。

從來韓國米穀の輸出地は殆ど日本に限られるもの〻如くなりしが、晩近に至り歐洲諸國に販路開け漸次輸出も増加し來りたれども、價格の充分折合はざる爲と交通運輸の不便とは此輸出に支障を與へて容易に發展せざるもの〻如し、若し夫れ其價格にして歐洲市場の相場に引合ふとせば其需用は夥多なるべく、現在に於て運賃の多く掛れるを以て充分の輸出を見る能はずとなす、是を以て歐洲の輸出を盛にせんと欲すれば輸出港に於ける運賃の低減を圖ると同時に歐洲行の船舶を此輸出港に多く寄港せしめざる可らず、生産地より開港市場に至る運賃の低減は政府の保護によりて之を爲し得べきも、歐洲航路の船舶を多く寄港せしむることは現在韓國の貿易狀態に於ては不可能の事とせざる可らず、然らば直接歐洲輸出をなすには如何なる方法を取るべきか、一昨年來滿洲大豆の歐洲に輸出せられ本年の如きは非常なる多額の輸出あるべしとの事なれば、大連牛莊は之が輸出港として幾多歐洲行の船舶を見るべく、從て其運賃も比較的低廉ならむ、韓國米穀の輸出も之を利用するの利ありとせざるか、若し夫れ大連に送りて大連に於て此等の船舶に積込むを利ありとすれば政府は仁川釜山大連間の航路に補助を與へて定期の航海をなさしむるを要す、之は啻に米穀輸送の爲めのみならず、滿韓の貿易を隆昌ならしむるの利あり、斯の如くして生産地より開港市場間の交通運輸を便にして其運搬費を低減せしめ、仁川釜山大連間の定期航路を開始して其輸出に便ずるに至らば歐洲に於ける韓國米穀の需用は頓に増加し來るべし、内に於ては歐洲に最も需用多しとする大豆作を奬勵し多大の輸出を見るに至らば仁川釜山の港内には歐洲航路船は招かずして集り來らむ、惟ふに其奬勵に就ては尚幾多の方法あらむも、産業に熱心なる曾禰統監上にあり、當局に於ては必ずや既に成算あるべきを信ず、余輩は當局者が一日も早く之を實行せられん事を切望するもの也。

東京電報

●司法廳の開始期 十月二十日を以て開廳式を行ひ十一月始めより施行するに決

委任司法權の實施期は十月二十日を以て司法廳の開廳式を行ひ十一月始めより施行するに決定したり(二十九日午前六時發)

●韓銀株と抽籤期 十月三日

韓國銀行株式應募に對する抽籤は十月三日を以て施行す(同上)

●米國政府の抗議

米國は日清協約に關し門戶開放主義に反すとて日本に抗議を申込むべしと來電あり(同上)

●松平正直男危篤

松平正直男は病氣中の處危篤に瀕せり(同上)

●組織變更と監部

來る十一月より三井監部は多少の變動あるべく其内確定せるは飯田義一氏の跡に山本太郎氏任命せらるべし(同上)

奉天電報

●露國の對抗線路

露國が吉會線に對抗せん爲め清國政府に要求中なる寧古塔より琿春を經烏斯里線に到る鐵道は比較的工事容易なれば清國の許諾を得ば直に着手し吉會線よりは速かに竣功する見込なり(二十八日午前發)

●吉長線の竣工期

吉林長春間鐵道は來年三月長春より起工し一箇年にて竣工せしむる筈なり(同上)

紐育電報

●米國と日清協約

米國政府は今回締結せる日清協約に對し第三國が頻りに猜疑を逞ふせる此際特に聲明して日本が無條件にて滿洲に於ける鑛山採掘權を獲得するは則ち從來米國の取り來れる門戶開放主義を危殆ならしむるものなりと主張す(二十九日東京經由)

雜報

●土地整理の進行難

韓國政府が全國の土地丈量を實行し個人の權利を確定すると共に經常歲入の基礎を鞏固ならしめんと欲し臨時土地整理局を設置する事となり既に其官制も編制し又之が施行に要する財源も興業銀行との間に借款を契約しあるが將來統監の交迭に次いで司法權委任の政變あり次に又中央銀行設立等の事起り樞要の當路者たる荒井度支部次官は多く東京に滯留せる爲め該局設立の件も自然實施を行悩み居れり然るに又韓國民の土地整理に對する觀念を窺ふに頻りに猜疑臆說を流布し且つ多數の農民は從來曖昧模糊の間に實際の地積を隱蔽し之が爲めに尠からぬ餘德を貪りつ〻あり是等の徒は嚴然たる土地丈量の施行を受くれば自然權利確定の利益よりヨリ以上の利益を減殺せらる〻に至るべしと思惟し旁々反對の氣勢を高め居れり然れば愈々該制を實施するに至るも如上の至難と鬪はざるべからず況んや韓國の財政狀態は他に急設要施の事多く故に斯かる多額の資金を投じて八ケ年後の歲入增徵を豫想して遂行する程急務なるやに就き其筋に議論起り居れば結局該整理局の實施は當分未定なりと云ふ

●區裁判所の位置

韓國の區裁判所は豫定の如く百零三ケ所に設置せらる〻筈なるが右の內四十ケ所は既設の儘として本年十一月迄には四十ケ所の增設を行ひ餘す處の二十三ケ所は明年に至り設置する由なるが新舊の別なく其位置を列記すれば左の如くなりと

京城、揚州、開城、漣州、金浦、仁川、江華、水原、安州、利川、驪州(以上京畿道)春川、伊川、蔚珍、江陵、通川、平昌、原州、金城(以上江原道)公州、大田、天安、牙山、洪州、瑞山、沔川、保寧、鴻山、江景(以上忠淸南道)忠州、堤川、陰城、淸州、報恩、永同(以上忠淸北道)咸興、元山、永興、北靑、甲山(以上咸鏡南道)淸津、會寧、鏡城、城津(慶興以上咸鏡北道)平壤、鎭南浦、成川、安州、德川、順川(以上平安南道)寧邊、義州、新義州、楚山、江界、龍川、定州、宣川(以上平安北道)海州、白川、平山、新溪、瑞興、黃州、載寧、松禾(以上黃海道)大邱、榮川、盈德、慶州、永川、星州、尙州、金山、聞慶、安東、靑松、義城(以上慶尙北道)釜山、晋州、蔚山、密陽、居昌、金海、龍南、河東、居山(以上慶尙南道)光州、濟州、靈光、順天、長興、羅州、木浦、羅州(以上全南)全州、群山、鎭安、錦山、南原、古阜、興德(以上全北)

因に京城の高等法院、京城、大邱、平壤の三控訴院、京城、公州、大邱、釜山、光州、海州、平壤、咸興の八地方裁判所も十一月迄には一切設備を完成するに至るべしと

●委任裁判所の組織

韓國より委任司法權實施に伴ふ裁判所の組織は既報の如く三級審制度を採用するに決したるも大審院の名稱に就ては名分上面白からずとの議論起り結局高等法院、控訴院、地方裁判所、區裁判所とするに決定し此制度の下に諸種法規を制定し松寺書記官之を携へ統監の形式的決裁を乞ふ可く歸任せり

●法權實施と諸法規

別項の如く委任司法權實施に伴ふ諸法令は倉富法部次官東上の上其筋と交涉を遂げ既に法制局との打合も了したれば一件書類全部を松寺法部書記官携帶歸韓し形式上曾禰統監の決裁を受け更に法制局に廻付し同局の決議を經て樞密院の會議に付し來る十月二十日頃迄には勅令を以て發布を見るに至るべし而して制定諸法令は左の如し

統監府司法廳官制、同裁判所令、同判檢事任用令、同官等給與令、統監府監獄官制、同官等給與令、統監府司法警察官々制、同任用令、同官等給與令、統監司法事務取扱令

●土地調査の着手期

土地の調査に關する準備は目下度支部臨時財產整理局に於て毎日會議を開き調查中なるが愈々調查に着手する時機は遲くも明年一月頃にて豫算金一千四百萬圓を要する一大事業のことなれば愈々着手するに至らば地方の金融界に影響を及ぼし活氣を帶ぶるに至るならんと佐々木書記官は語れり

●黃海道方面暴徒狀況

陳警察部長の談に依れば目下黃海道に於ける暴徒は全州、新溪、平山等の東部地方に方り三十名內外の集團の出沒を見るも西部地方は極めて平穩なり而して一月及五月に於ける數度の大討伐の結果四分五裂して小部隊となり討伐隊の目を掠めて民財を劫奪するの傾あるも警察隊の嚴重なる偵察と守備隊及び憲兵隊の專心掃蕩に從へるより近く彼等の跡を絕つに至るべく又海賊は漁業期終了したるに依り沿岸に其片影を見ざるの有樣なり尙貧窮の極往々暴徒の群に投ずるものあるも本年は豫想外の豐作なれば斯くの如きは萬々之れなかるべしと

●警視廳管下防疫事務

コレラ發生以來京城各警察署に於ては患者發見次第直に消毒の上避病院に輸送し且一般衞生上の注意をなし來りしが斯くては統一を缺ぎ防疫事務上不便多きを以て之を警視廳に總ての本部を設くることゝなり即ち檢診部消毒部輸送部を特設し指揮することゝなれり而して各警察署管內は區に別ち巡查を督勵し充分責任を負はしめ檢病的戶口調查を行ひ防疫に勉むると同時に豫防に關する注意事項を勵行し卅日より實行する由

●警察部長會議の效果

第一回警察部長會議は草創の際とて纏まりたる會議事項もあらざりしが今回の同會議は既に一ケ年の施設と經驗に鑑み警察上の根本問題に就き會議を開き本部に於ては地方の狀況を知ると同時に各部長亦本部の方針を明かにするを得たるに又外に在りては日韓兩國人の和親を圖り、兩班儒生を指導啓發するの方法を講究し內に在りては既往の經驗に鑑み制度の改善、警察官の敎養等に就き討議する處ありたれば其效果蓋し多大なるものあるべしと云ふ

●會計法改正案の經過

會計法改正案に就ては曩に度支部內にて委員會を組織し委員長に佐々木書記官委員は藤井、吉松、河內山、菅田の各書記官及び梶島、野阪、吉田、深尾の各事務官內海檢查官等の外主事數名なるが吉松書記官は主査會の委員長として二箇月間主査を爲したる後其成案に就き委員會に於て審查を爲したる會計法は去る二十七日の委員會にて全部議了し會計規則は同日より議事を開始し全部百二十ケ條の內十箇條だけ議了したりと

●地方費賦課目の決定

慶尙北道に於ては道令第六號を以て地方費賦課金賦課規則を發布したるが課目は地稅附加稅、屠獸稅、市場稅の三にして課率は地稅附加稅に在りては本稅の百分の五屠獸稅は屠牛一頭に付き五十錢、市場稅は放賣價格の百分の一なり而して約期及懲罰等は既報の如し因みに地方費賦課に關する道令は本道を以て嚆矢とす

●新造水上警備船航程

警務局に屬する先發隊なる五隻の水上警備船は一昨二十八日夕壹岐勝本港に入港昨二十九日對島竹敷に向ひたる由にて來月三四日頃木浦着の豫定なり而して后隊の五隻及び關稅局に屬する六隻は目下吳に繫留艤砲の裝塡中なりと

●警察部長の招見

松井警務局長は昨廿九日各警察部長を各別に自邸に招見して警察上に關する意見を交換したり尙本日は各警察部長相會して事務取扱ひ上に就き打合會を開き明一日夫れ〴〵歸任すべし

●警備所長の任命

水上警備所は木浦、麗水、茁浦の三ケ所に設置さるべきが內木浦所長は內部警務局の白井警部任命さる〻由にて同警部は來月二三日頃赴任の筈

●憲兵分隊長會議

前日來に引續き憲兵隊本部に於いて分隊長會議を開き機密事項に就きて凝議する處ありたりと云ふ

●農林學校任用令

官立農林學校は文官任用令に依り文官に任用の資格を附與さる

●敍任辭令

左の通り辭令ありたり

咸興區裁判所判事　及川源五郞

補永興區裁判所判事

義州區裁判所判事　川島利太郞

補德川區裁判所判事

海州區裁判所判事　宮澤員也

補定州區裁判所判事

●韓銀拂込と總會

韓國銀行の株式割當は愈々近日確定する筈なれば其拂込は來月五六日頃より十日迄に終了の豫定なるが創立總會は定款の規定に依り各株主へ對し廿日前に通知するを要するに付十一月一日頃に總會を開くならんと

●釜山船渠の設置經過

今回釜山に鐵工所を兼ねたる引揚船渠の建設計畫しつゝあることは既記を經たる所なるが元來船渠と云はゞ乾渠式と引揚式との二種にして前者は工費十餘萬圓後者は七八萬圓を要すれば差當り同港に建設するは引揚式にして設計等を終りて殆んど設立の運びとなり居れり而して同地に船渠を建設するも其創立者たるや素より營利的に非らずして政府の補助を得て漸く經營するに止まる位の計畫にして唯韓海沿岸に一の船渠だになきは單に海運上の奬勵に關するのみならず遠からず發布さるべき船舶法發布と共に船舶檢查法の實施となりし曉には斯業者の不便云ふべからず然るが故に船渠の建設は一日も忽にすべからざる事柄なるも政府當局者の如きは船舶檢查法を公布わりて船渠の必要ありとせば第一船舶檢查法乃至船舶檢查法の發布を遲延すべしと主張しつゝある由なれば經營者の豫測し居る計畫も容易に發表する能はざるは當然の理なりと云ふ現に角近々の內には同港へ引揚船渠の建設さるゝは疑なき所なりと

●仁川會議所總會開催

仁川商業會議所總會は本日午後七時三十分より同所樓上に於て開會し四十二年度豫算案及び韓人勞働組合新設に關する件穀物檢查存續問題等に就き審議する筈なりと

●米及大豆價格表

其筋に於て最近の取調に係る米及大豆の價格左の如し但價格は中位のものを以て標準とす

地方別	籾(圓)	玄米(圓)	大豆(圓)
仁川	四、五〇〇	一〇、二〇〇	五、一〇〇
群山	三、九〇〇	九、二〇〇	五、二〇〇
木浦	四、六〇〇	九、九〇〇	四、三〇〇
密陽	五、五〇〇	一〇、三〇〇	四、五〇〇
海州	三、〇〇〇	七、二〇〇	三、二〇〇
鎭南浦	四、五〇〇	八、七〇〇	五、七〇〇
龍岩浦	四、〇〇〇	八、一〇〇	五、四〇〇
平均	四、二八〇	九、〇八〇	四、七七〇

●平南工事の開始

平南鐵道敷設に就ては鎭南浦側よりするものは既に去廿五日より工事を開始したるが平壤側に於ては十月一日より開始するに至るべく之が工事役員其他の派出詰所は平壤を距る約一里八洞に設置する都合にて目下準備中なるが之が竣工する迄は同地より出張して施工すべく其他は其內入札に附したる上着工すべし

●臨津江架橋工事

京義線平壤以南に於ける大工事なる臨津江の架橋は其基礎工事四個所の內既に三線迄は大部分竣工したりしが此程全く右の橋脚は地盤に達し最も困難工事に屬する第四號橋臺のみ剩し其內最難工事に屬する堅牢なる方法を以て竣工したれば十月十五日頃には上桁工事竣工をも見るべしと

●虎疫と氣象關係

降雨の虎疫に及ぼす影響は實に多大なるものあり過般の降雨に際しても多數の患者を生じたるが目下京城の南に方り降雨あり當地に於ても今夜より降雨あるやも計られざる豫測なれば此際各自注意すべきなりと專門家は語れり

●經濟視察員來韓

獨乙フランクフルツ新聞記者たるウエルトハイメル博士は日淸韓の經濟事情視察の爲め不日日本より渡韓しそれより淸國に向ふ筈なりと云ふ

●淸州日本人會長

淸州日本人會にては曩きに會長田中亨氏辭任したるに就き爾來人選上行惱中の處今般評議員佐野照馬氏(觀察道主事)を選擧することに決定したり

近事片々

▲御用 紙より官紀振肅論を聞く亦珍とするに足る斯の如くにして全く御用の價値有る

▲邦人 官吏の非行は全く目に餘ること多し此際御用紙の叱責は幾分其效を奏せんか

▲官吏 の非行は啻に官吏自身の墮落と冷眼看過する能はず保護政治に多大の影響有り

▲曾禰 統監の決意堅く韓國經營の下に鞠躬盡瘁するも辭任せずと報せらる聊人意を强ふす

▲祖國 新聞には統監の辭職は斷じてなかるべきも此際歸朝靜養の傍ら政務を見んと紛々歸一せず要するに辭任は曾禰子として斷じてせざるが事實らしく思はる

▲所報 …

▲就任 日尙淺く爲に事蹟の擧れる者なき今日辭任するは大に忍びざる所もあらむか

▲東京 毎日は若し統監に更迭ありとすれば何人を後任にすべきかと後任者を臆評す

▲伊公 の後任を得るは難し曾禰の後任は易し伊公に優る人少く曾子に優る者多し

▲林伯 靑木子芳川伯淸浦子と數へ來りて何れも適せずとなし左らば伊東子は如何と

▲伊東 は曾子に優る蓋し數等彼は得易からざる人政府も矚目すれど彼は應せずと

▲然ら ば何人を適任とすべきかとし終に山本權兵衞伯を推して頻に彼器を稱揚せり

▲山本 は其心堅實品性高潔統監として重味ありてアブナ氣なしとては餘り讃め過ぐ

▲要す るに後任者としては伊東子が萬人の矚目する所ならむ併更迭なければ不要也

▲韓國 の財政は明後年以降は自力にて維持可能也と荒井次官語るも些と疑はしき也

▲何等 の成算ありて明後年より自力にて維持可能なるかは聊不可解世人は信用せじ

▲最も 積極的に事業を計畫せず消極的に歲出を緊縮すれば或は維持せらるゝならむ

▲西本 願寺の光瑞法主佛跡探險の爲に印度に出發せり光瑞師は兎に角豪らい坊主也

▲英國 豫算案は上院に十三票の多數を以て通過せりとロイドヂョーヂの腕前現はる

▲大坂 朝日の社會部長棕十先生近々來韓せらるゝと希くは早く拜眉の榮を得たきもの

公人私人

▲富永正義(度支部技師)廿八日入京京金へ

▲岩田賓造(辨護士)二十八日入京巴城館へ

▲黑部賓一(仁川稅關事務官)廿八日歸任す

●小松書記官出發

小松統監府書記官は豫定の通り昨二十九日午前九時南大門發の列車にて北韓視察の途に就きたりと云ふ

●豐永博士の囑託

勸業模範場技師農學博士豐永眞里氏は去る十七日付を以て人蔘特別耕作區域內土性調查を囑託されたり

●京城通信の擴張

駐町京城通信社は從來の通信部の外更に廣告部及調查部を置き各新聞社への廣告取扱と社會百般の事業に對する調査の依賴に應ずる筈なりと云ふ

●仁川民會の開期

仁川居留民會は今月末を以て開會の豫定なりしも奧田會頭目下大連地方へ視察の爲め出張中なるを以て今月中歸仁の上日取其他決定せらるべしと

●沿海州方面皮革 露領沿海州に出漁したる本邦漁業者は同地漁業終了と共に漁場…邦人の該業を營む者の越年するに至りたる爲に同地に於る邦人の皮革業は頗る有望…

●刑事殺しの公判 京城刑事殺し第…

…樓客は總計タッタ四十八人にして消費高は二百二十八圓三十一錢とは氣の毒なり

●天氣豫報 北東の風曇

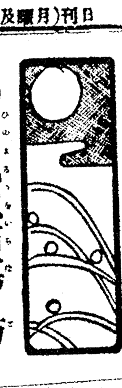
…同地に滯在して越年するものもあり此は近年沿海州に於ける皮革業の盛んなるに從ひ…

●久水理事官入京 元山理事官久水三郎氏は一昨二十八日入京天眞樓に投宿したり

…庭に於て開かるゝ筈なりと云ふ

●警部夫人の死去 內部警務局勤務寺島警部の夫人は姙娠臨月の處不幸にも虎疫の爲め遂ひに同隊にて死去せられたりとは氣の毒

●新町の不景氣さ 一昨夜の新町遊廓登…



●日丸魚市場を訪ふ ▲需用は虎疫に影響せぬ

京城市內に於ける魚類の需用供給の一般傾向を窺ふべく記者は昨日午前十一時南大門通り日の丸魚市場を訪ふた、先づ魚の臭ひが鼻を攻撃して氣持がいゝ、糶場の騷ぎわげた甃を通つて突き當れば柱に「事務所」と簡單に書ゐてある二三人の事務員が各自机に向つて賣揚臺帳らしいのに忠實にペンを走らしてゐる刺を通ずれば主任が同店の現況を諄々と語つて與れた、私の方が賣ります魚は總て釜山仁川外一ケ所から毎日鐵道便で輸送して來ますので其內釜山から來るのは何分長距離の輸送ですから腐敗の虞れば**夏時中は全部氷入り**の箱詰です仁川からは南大門驛着一番列車で來るのですから未だ潑溂した魚が多く居ますそれを各仲買人が待受けて殆んど糶賣同樣にしますから直ぐ捌けて了ゐますそれで私の方では直接の得意先きはありませぬ目下の處**毎日賣揚高は四百五十圓から五百圓**の間を上下して居ます虎疫流行の關係から需用が少ないだろうと考ゐましたが決して賣揚高に**異動はありませぬ**、いゝ私の方は株式でもなければ合資でもありませぬ己人で營業してゐます、只今は鯛、鱸、ハモ、鰕などを多く送つて來ます云々

●大上商店の黑鼠 ▲賣掛金費消四百餘圓 ▲贓品を同業者に賣る

當地本町五丁目の大上商店雜貨商大上友太郎氏方にては先日一時に四名の店員を解雇し之を各新聞紙に廣告したるが今彼れ等四名中のなしたる犯罪中既に判明せるものを聞くに同連中の筆頭和歌山縣西室郡田邊町下屋敷町四十一番地平民**古矢正三郎**（二五）及び京都府下愛宕郡田中村大字高野川原三十七番地平民**宮崎信三郎**（二五）の兩人は名前だけは正とか信とか頗る正直そうなれども其實なか〳〵の橫着者にして兩人共謀の上本年七月より本月廿三日迄の間に主家の得意先なる賣揚代金約**四百餘圓を橫領**なし尚ほ此外に同店の商品ミルク二打を京城本町三丁目**佐藤牧**方店員某に金五圓にて賣却しビール四打 鰹節數十本を旭町三丁目**河本商店**に金十九圓九十錢に、ビール一箱ミルク十四個を**內藤商店**其他に賣却して旭町二丁目待合**醉月樓**壽町二丁目**錦支店**新町**京城樓**等に日夜入込み身分不相應の金錢を浪費して浮れ廻り居たるを南部署刑事に探知せられ一昨日兩人共前記大上方より拘引せられしが尚は餘罪ある見込にて目下嚴重取調中也と

●不都合なる志岐組 ▲コレラ患者を市街に放つ

一昨日仁川宮町通りにて行倒韓人あり檢診の結果コレラ患者なる事を確めたる由は既報の通りなるが右韓人は鄭德化（二三）と呼ぶものにして仁川志岐組の**雇人夫**なるが仁川稅關工事に從事中去る廿七日朝吐瀉下痢數回に及びたるより其旨組頭の者に訴へたるに**金五十錢を與へ**內二十錢にて藥を買はせ殘金を小遣にせよとて與へたる儘後日の**面倒を恐て放逐**したるより行方なく西に彷徨ひ東に迷ひ居たる末苦悶の餘り打倒れたるものと判明せしにぞ仁川署に於ては右志岐組に對し**相當の處分**を爲すべしと

●京城市內の虎疫彙報 ▲邦人續々羅病す

一昨日南部署管內に於ける新患者を聞くに△佐賀縣平民當時壽町三丁目下宿屋田中信四郎方無職菅原朝一（三七）△東京府平民當時本町一丁目飲食店神らん（三六）△岡山縣平民當時南大門通り雜貨商建井豐吉（五〇）△三重縣平民當時旭町一丁目內部事務官佐治修三妻いち（三〇）△南部仁峴洞日雇文甲善（二〇）△大阪府平民當時大和町二丁目無職森本たつ（三〇）△南部明禮坊佛蘭西敎會所內バルバー△南部長橋後元俊（三一）△旭町二丁目山本直吉（三九）△會賢坊司畜洞日雇郭士賢（三〇）△誠明洞仁峴日雇金姓女（四九）△南部會賢坊日雇金明祚（三九）△南部樂善坊金雲龍（七三）△南部誠明坊宋秉天（四六）△同所韓華錦妻金姓女（三五）△南部誠明坊仁峴韓泰河（二〇）△大分縣平民當時櫻井町中尾金作妻せん（三三）△旭町二丁目竹田りく方無職緒方富士郎（十八）の十八名にして內邦人八人韓人十八なり

●又々警察醫の大失態 ▲患者避病院に途惑ふ

仁川仲町三丁目居住の堀內增五郎（十八）と云ふは曩に虎列剌患者と診定せられ避病院に收容せられ同家及び附近に交通遮斷を施したる由は既報の如くなるが其後避病院にて更らに檢診の結果虎列剌患者にあらずして單に腸加答兒に過ぎざることを確めたる由なるも今更ら先の高木主治醫の診斷を取消す譯にも行かずさりとて日と共に全治しつゝある患者を虎列拉として扱ふ譯にも行かず昨今主任醫は頗る當惑せるやに聞き及ぶが近來の咄々怪事と云ふべく此際各開業醫は愼重の態度を執られたきものなり

●拐帶郵便局員の前科 ▲輕懲役六年の缺席判決

曩に北道延日郡浦項郵便所其他にて數千圓を費消し其儘好いた女と手に手を取りて仁川に逐電したるを同地警察署刑事の爲め取押へられて取調中なりし寺田政敏（三十）と云ふは其後嚴しく訊問の結果官印盜用官文書僞造行使竊盜詐欺取財の犯罪に依り輕懲役六年の缺席判決を受け居る前科者なる事を確むるを得たりと云ふ

豫告

久敷く愛讀を蒙りし講談中山大納言も餘す處僅かに數回を以て大團圓を告げんとす、されば本社は之れに替りて今回は講談界の驍將**伯山**改ため**神田松鯉**が得意の讀物たる**鎭西八郎**を連載するとせり、歷史上有名なる鎭西八郎爲朝の事蹟は松鯉が**周到**なる講釋と**精巧**なる**挿繪**とに依つて遺憾なく發揮するを得べく、蓋し近來の**好讀物**たるを失はず、讀者乞ふ今後の紙上に俟て

●犯人の逃走幇助

仁川新町一丁目居住の大阪市西區九條町生れ奴亭事村田熊吉（四六）と云ふは曾て或る犯罪の下に一年六箇月の懲役に處刑され服役したるとあるものなるが其際の知人なる大阪の某呉服店にて八百餘圓の竊盜を働きたる前科十五犯の曲者富田房次郎（三六）が仁川に逃走し來り市中を徘徊し良からぬ行爲のみある者をば自宅に匿まい剩へ奥の一室にて酒肴をさへ饗應して逃走せしめ其筋の搜査を困難ならしめたるは不埒も甚しとて仁川署に同人妻つる（四八）諸共引致せられ一昨日檢事局に廻る

●仁川の虎疫患者

仁川に於ける一昨日の虎疫新患者發生數を聞くに僅かに五名にして何れも市中を遠く隔る韓人部落のみなりと因みに仁川濱町三丁目岡久吉（三五）は曩に疑似虎列剌に罹り避病院にて治療中の處一昨日全治退院したる由

●花柳界たより

虎疫流行の爲め如何なる商賣も非常なる打擊を蒙りたるが中に尤も痛棒を受けたるは花柳界に有之候されば數多の藝妓衆も退屈のあまり色々な惡戲を爲て其日を送り居る樣子なるが淸華亭の若手連は虎疫はエテ弱虫に取り付くものなれば何んでも元氣を作るに如かじと此頃の赤の玉櫻甲斐〴〵しく柔道の稽古に餘念なき由に候、其中最も成績良きは玉助拍子にして就中投げを得意とし其腰投の如き柔道以外に錬ひし腰の强味あることとて實に鮮かなるものゝ由に候、此分にては氣の弱い男は却々手出しも出來ざる次第に候、併し八入を引いて湯卷まで質に置く樣な手合ひよりは勇壯にして遙かに宜き思ひ付きと存候、さるにても敎へた主の名こそ聞かまほしく候▲原價八百圓の身が一年半も働いて九百圓と云ふ大借金を作り着のみ着のまゝにて京城に逃げ來たりし仁川淺岡の町奴拍子は種々苦心の結果大割引をして新町月下樓へ此廓では珍らしき三年六百圓にて住み込みぽん太と名乘りて張店の列に入りしはつい數日前の事に候、窮餘の思付きとて成績如何と案じたる向きもありしが流石は以前福原の廓で錬ひし女郎腕は立所に發揮され店出し匆々より非常なる好人氣にて客種頗る宜敷く親方も大嬉びの由に候▲歸省中なりし掬翠の梅吉婆さんは此程古巢に舞戻りしが是を聞いて有り難がるものは一人も無之と存候（花柳子）

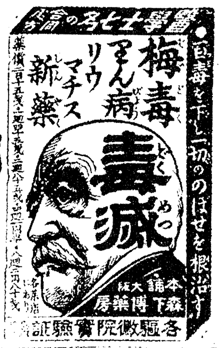
吉凶鏡 本町五丁目 三一館判斷

九月卅日舊八月十六日四綠大安發己なる天一天上△一白 進退斷引其節を失し失錯あり其外吉金屬に關する業務には大に吉△二黑 衰退の日なり創始改變の事凶尚盜害遺失酒色を愼しむべし△三碧 競爭あり勗むれば勝を制す概して斯日は意氣消沈なく勵むときは成效著し△四綠 困憊の事多し新事見合の事療病學事慈善の行爲は妨げなし△五黃 貧窮不自由の日にして又障礙紛錯起り易し遺失紛失家庭內に波瀾あり△六白 爭論紛擾起り易し總じて凶運の日さす謹愼すべし殊に火氣に關する業務は大に凶△七赤 酒害女色賭事を戒しむ依賴依託を受くるは堅く謝絕すべし概して不運不利の日なり△八白 破綻爭論あり證劵帳簿其他業務上に間違起る事多し△九紫 平運平凡なるも業務上につき少し快心、會心の事あり右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し



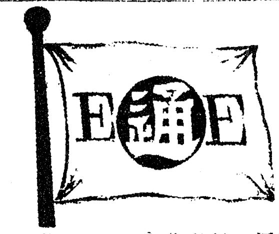
◀平民文庫▶

▲先頃まで花月に嬌名を唄はれしぽん太は藤妓稼業を廢めて明治町二丁目藝田合名會社裏に借家して芳村伊三郎から貰つた名の芳村伊左松の標札を上げて遊藝師匠をして居るのは粹さま先刻御承知のことである△處がツヒ此の程の事戶口調査の爲め同人の宅へ來た査公は其の錄に立ち出でた同人に對して種々質問した結局「貴女のれ名前は……」「矢嶋まつと申します」査「スルト芳村伊左松と云はれるのは貴女の配偶者ですナ」「ソ、不意を喰つてぽん太君慌てまいてとか「ソ、それが妾の藝名で」今度は査公ハッと爲たらしい「ウム、ハア、夫れが私の藝名でしたか」とは振つたものなり（係）▲はの字君のれ說御尤も斯くてこそ人間は不滅の境に生を樂しみ淸高の內に快活なる生涯を送る事を得君の如き眞に幸福なるかな（信仰の人）▲虎疫豫防藥としてコロリチンは最も適藥であると思ふ皆さん必ず一瓶は懷中から放さぬ樣になさいよ（實驗子）▲何を悄氣て居るんだい虎列剌虎列剌つてコレラが何んだ濕氣ある處に黴が生へるが如く陰氣な者に病魔が襲ふよ意志だに堅固ならば黴菌を喰ふも何かわらんやだ、君行う行つて大に騷がうではないか是れ一つには沈鬱せる市況を挽回する方策なれば也（春部）▲患者を出したが御商賣柄始末は直きに付くだらう（どんぱ）▲大韓日報社の八木君や三宅君や元山——では判らない田邊君や南大門の熊野君やが發起となりて來る十一月三日の佳節をトし百人一首かるた大會を開催する計畫がある我れと思はん斯界の勇士達よ油斷して負れを取り玉ふなよ、と裏切るものは（むら）▲二十八日の夜八時頃百三十銀行前に於て糞尿掃除淸國人夫が其の桶を引ツくり返したので大騷ぎを演じて居た支那人の事だから大根の種子でも蒔く積りだらう（通行人）▲惡口を云ひなさんな（小僧）▲花月の藝妓中で脊の高いは勝利と加代と花奴であるが目方は勝利が一番重い脊は餘り高くないが肉附きが良くて力量の一番强いのは君江である朋鐵の藝妓を坐はらして置いて帶を持ち片手で之を引提げて歩るくそうだ、彼れに柔道を少し敎へたなら大抵な出齒龜は縊め殺ろされるであらう、イヤ胴締だけは既に手に入つて居そうだ（消息通）



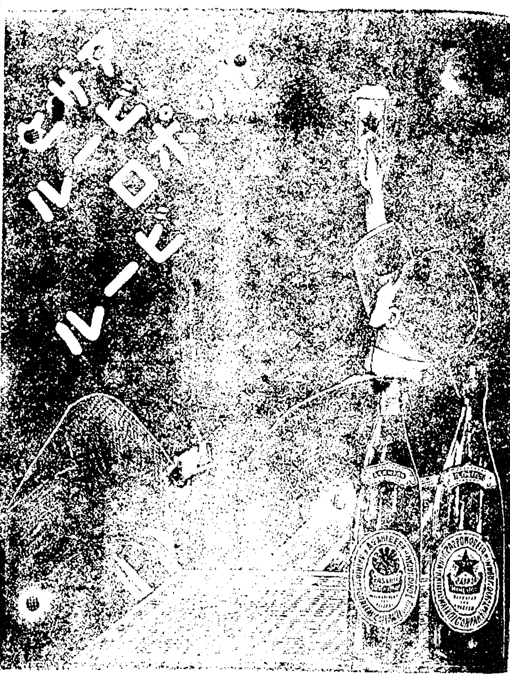


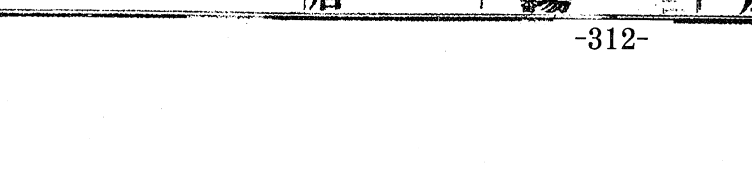












●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金 [illegible]
●廣告料 五號活字十九字詰一行 [illegible]
發行兼編輯人 高木久 [illegible]
印刷人 松久神一郎
京城 [illegible]